

令和4年度 第3学年 家庭科・技術（家庭分野） 年間指導計画・評価計画

月	時数	単元	観点別学習状況の評価観点			ICTの活用
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	2	私たちの成長と家族・地域 ・ 幼児の生活と家族	幼い頃を振り返り、周囲の人との関わり大切さについて理解している。 幼児の体の発育について、発達の方向性や順序性ととも、個人差があることを理解している。	幼児の成長は周囲の人との関わりや支えのなかでは育まれたことを自分の成長を振り返ることから理解し、幼児と幼児の学習に対して関心をもって幼児の心身の発達に応じたおもちゃや遊び方について考え、工夫している。	幼児の成長は周囲の人との関わりや支えのなかでは育まれたことを自分の成長を振り返ることから理解し、幼児と幼児の学習に対して関心をもち取り組もうとしている。	タブレット端末 デジタル教科書
5	2	・ 幼児の生活と家族	幼児の情緒、社会性、言葉の発達の特徴について理解している。 幼児の生活習慣の形成の重要性と、それを支える家族の役割、基本的な信頼関係を築くことの大切さを理解している。 幼児の生活習慣がどのように身についていくのか理解している。 幼児の生活習慣の習得を支える家族の役割について理解している。	幼児との遊びを通して幼児の心身の発達に応じた関わり方を工夫しようとしている。 基本的な生活習慣や社会的な生活習慣の獲得の意義を説明できる。	幼児の心身の発達の特徴と生活について理解し、幼児とのかかわり方を考え、取り組もうとしている。 子どもの発達を理解し、子どもが育つ環境としての、家族や周囲のおとなの役割について説明しようとしている。	タブレット端末 デジタル教科書
6	2	・ 幼児の生活と家族	幼児にとっての遊びの意義について理解している。 幼児にとって、遊びは生活そのものであり、身体の発育や運動機能、言葉、情緒、社会性などの発達を促していることを理解している。	幼児の遊びの意義を踏まえ、幼児との関わり方を工夫している。 幼児の遊びを豊かにする遊び道具や遊ぶ環境について考え工夫している。	幼児の1日の生活を振り返り、幼児にとっての遊びの意義について考え、工夫しながら幼児との遊びで実践しようとしている。	タブレット端末 デジタル教科書

7	2	<p>・ 幼児の生活と家族</p> <p><調理実習> 幼児のためのおやつを作ろう</p> <p>私たちの食生活 ・ 調理と食文化 2年生分野 < 調理実習 > 肉・魚・野菜の調理をしよう</p>	<p>幼児のいろいろな遊びを観察し、遊びで育つ力について理解している。 幼児の遊びを豊かにする遊び道具と、遊ぶ環境について理解している。 遊ぶ場所の環境が安全であることが大事だと理解ができる。</p> <p>おやつは食事の一部であることを理解し、栄養のバランスを考えることができる。</p> <p>肉・魚・野菜の調理上の性質や調理上の性質や調理方法について理解している。 肉・魚・野菜の調理上の性質を生かし、手順や時間を考えて計画することができる。 安全と衛生に留意しながら適切な火加減で肉・魚・野菜の調理が適切にできる。</p>	<p>幼児の心身に合ったおもちゃや遊び方について考え、工夫している。</p> <p>おやつの実習の中で課題を設定し、おやつ作りの計画を自分なりに工夫している。</p>	<p>幼児のいろいろな遊びを観察し、遊びで育つ力について考えようとしている。 幼児の成長に適した遊びや道具の観察をまとめて発表しようとしている。</p> <p>おやつの実習の中で課題を設定し、おやつ作りの計画を自分なりに工夫している。</p> <p>肉・魚・野菜の調理に関心を持ち、調理技術を習得しようとしている。衛生や安全に配慮しながら、仲間と協働して調理に取り組もうとしている。</p>	<p>タブレット端末 デジタル教科書</p>
9	2	<p>・ 幼児の生活と家族・ 〈実習〉</p> <p>おもちゃを作ってみよう</p>	<p>幼児の生活に役立つものの製作に必要な基礎的知識を理解している。 幼児のおもちゃを自分なりの工夫を加えた製作計画を立てることができる。</p>	<p>幼児の心身の発達に応じたおもちゃや遊び方について考え工夫している。</p>	<p>幼児の発達段階に応じたおもちゃの製作を通して、幼児の遊びに関心を持ち工夫し創造し、実践しようとしている。</p>	<p>タブレット端末 デジタル教科書</p>
10	2	<p>・ 幼児の生活と家族・ 〈実習〉</p> <p>おもちゃを作ってみよう</p>				<p>タブレット端末 デジタル教科書</p>

11	2	<p>・ 幼児の生活と家族・ 幼児との関わり方</p> <p>〈保育園訪問の予定〉</p> <p>子どもにとっての家族</p>	<p>幼児と適切に関わるために必要な知識を理解しているとともに、適切にできる。 幼児との触れ合い体験を通して、幼児の発達や生活時間などの特徴について理解している。 幼児の遊びや発達の特徴、接し方などについて整理することができる。 幼児と交流した実践の成果と課題についてまとめ、発表することができる。 子どもが育つ環境としての家族や周囲の人びとの役割を理解している。</p>	<p>幼児の心身の発達に応じた関わり方について、観察したことを活かして自分なりに考え工夫している。</p> <p>幼児との触れ合い体験を通して学んだ幼児の特徴をまとめようと工夫している。</p> <p>幼児と家族や周囲の人びとの役割をまとめ発表することができる。</p>	<p>幼児とのよりよいかかわり方を考え、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 幼児と触れ合う活動に向けて幼児に関心をもち、課題を設定して適切に取り組もうとしている。</p> <p>家族や社会の役割の中で自分のできることを考え、家族関係をよりよくするためにできることを実践しようとしている。</p>	<p>タブレット端末 デジタル教科書</p>
12	1	<p>これからの私と家族</p>	<p>家庭や家族の基本的な機能、家庭生活と地域との関わりについて理解している。 高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者とのかかわり方について理解している。</p>	<p>家族とのかかわり方を振り返り、自分の家庭生活について課題を見つけ、家族関係をよりよくするために、できることを考え工夫している。</p> <p>中学生にとっての家族について考え、家族関係をよりよくするにはどのようにしていけばよいかを整理してまとめ、発表することができる。 地域の人々とのかかわり、協働する方法について問題を見い出している。 高齢者など地域の人々とのかかわり、協働する方法について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想している。</p>	<p>家族を支える立場の一員として、家庭、地域、社会の中で自分にできることを考え、行動しようとしている。</p> <p>地域とのかかわりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し実践しようとしている。</p>	

1	1	私たちの消費生活と環境 ・私たちの消費生活 消費者トラブルの解決方法	消費者トラブルの現状と背景について理解し、予防法について理解している。 消費者を支える法律や制度、期間について理解している。 消費者を支えるしくみについて理解している。	消費生活に関わるトラブルなどを解決する方法を考えることを通して、自分や家族の消費生活のあり方を改善しようとしている。	消費者を支える仕組みについて課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	タブレット端末 デジタル教科書
2	1		消費者の権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解している。 よりよい消費生活を送れるように、自分の消費行動を複数の観点から検討することの大切さを理解している。	消費者の権利と責任について関心を持ち、消費の在り方を改善しようとしている。	これまでの学習を振り返り、よりよい消費生活について考え、実践しようとしている。	
3	0,5	環境に配慮した消費生活 持続可能な社会を目指す	消費生活と環境との関わりについて理解し、環境に配慮した消費生活に関する知識を身につけている。 自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	環境に配慮した消費生活について考え、身近な生活における実践を通して自分なりに工夫している。 環境に配慮した消費生活について課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに工夫して創造している。	環境に配慮した消費生活について関心をもって学習活動に取り組む、よりよい生活を実践しようとしている。 持続可能な生活をするために自分たちができることを工夫し創造し、実践しようとしている。	
評価の方法			授業観察、発言・発表、 家庭ノート、ワークシート、 定期考査、製作カード	授業観察、発言・発表、 家庭ノート、ワークシート、 作品、定期考査、製作カード	授業観察、発言・発表、 家庭ノート、ワークシート、	